

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県「ミナレク運動」推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 ねんりんピック推進事務局 交流大会係

電話番号：058-272-1111 (内 2964)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,133 千円 (前年度予算額：23,133 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,133	0	0	0	0	0	0	0	23,133
要求額	23,133	0	0	0	0	0	0	0	23,133
決定額	23,133	0	0	0	0	0	0	0	23,133

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の成果を未来に繋げ発展させるため、県民皆が1つレクリエーションを実践する「ミナレク運動」をさらに推進し「明るく健康で、笑顔あふれる岐阜県づくり」につなげる。

(2) 事業内容

- ①ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催 (4,947 千円)
 - ・開催会場…県下5圏域レクイベント
 - 種目大会、市町村協賛イベント
- ②レクリエーション推進団体の認定 (111 千円)
 - ・ミナレク運動の推進及び裾野拡大に向け、レクリエーションやスポーツに親しむための行動計画を作成し実践する団体・学校等を認定
- ③レクリエーションスポーツの全県的普及 (17,212 千円)
 - ・レクを通じた健康づくりの全県的普及を図るため、派遣指導者による講習会を実施するほか、レク推進リーダーを養成。
 - ・ミナレク運動推進の支えとなる組織の新設・活動支援
 - ・市町村レクリエーション研修、レク推進団体の取組み取材等

(3) 県負担・補助率の考え方

誰もが気軽にできる、レクリエーションスポーツは、スポーツを普及する有効な手段と位置付け、清流の国ぎふスポーツ推進計画において、成人のスポーツ実施率 65%を目指しているところであり、県内各層への普及促進を図るうえで県の実施は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容		金額	事業内容の詳細
① ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催	旅費	489	職員旅費
	消耗品費	200	事務消耗品
	燃料費	74	公用車ガソリン費
	役務費	100	通信運搬費
	負担金	4,947	実行委員会県負担金
小計①		5,810	
② レクリエーション推進団体の認定	旅費	36	職員旅費
	消耗品費	33	認定証用紙等
	役務費	8	通信運搬費
	使用料	34	認定会場借上げ料
小計②		111	
③ レクリエーションスポーツの全県的普及	委託料	17,212	派遣指導者による講習会 推進リーダー、コーディネーターの養成 ミナレク運動推進組織の活動支援
小計③		17,212	
合計 (①～③)		23,133	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、2021年度に本県で開催が予定されている全国健康福祉祭（ねんりんピック）に繋がるシンボルイベントとして平成29年度より実施している。

県民がレクリエーションに親しむことにより、健康な高齢者となることを目的としており、継続して事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2021年に全国健康福祉祭の開催が予定されているため、これに向けて県民が気軽に参加できるレクリエーション運動の普及を図り、レクリエーション推進団体を500団体以上の認定を達成したところ。認定団体の取り組み内容について年間10団体を紹介する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
レクリエーション推進団体の紹介	0 団体 (R2)	0 団体 (R2) (R)	0 団体 (R2)	50 団体 (R7)	0%
	(R)	(R) (R)	(R)	(R)	

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

令和2年8月 第1回実行委員会総会

市町村・種目団体説明会

令和2年9月22日～令和3年2月28日

ぎふ清流レクリエーションフェスティバル開催

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での種目大会を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。

派遣指導者によるレクリエーションの講習会を実施し、これまでにレクリエーション推進団体を519団体（R02：100団体）認定した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	ぎふ清流レクリエーションフェスティバル、レクリエーション推進団体の拡大等を実施することで、県民がレクリエーション運動を行う機会が増え、健康維持や体力向上、更にはスポーツ実施率の向上に繋がるため事業の必要性が高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、コロナ禍の中、感染拡大防止に配慮しながらレク種目大会を各圏域で開催ができ、レクリエーションの普及拡大に期待以上の成果があった
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	県、県レクリエーション協会、主要市町村、主要市町村レクリエーション協会で構成する実行委員会形式をとっており、各方面と連携し、適切な運営が図られていると考える。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、県民の日常生活の中での「体、心、頭」の健康を増進し、誰もが健康寿命の延伸を図ることができる社会「明るく健康で笑顔あふれる岐阜県づくり」の実現に取り組む。
